

敬老会
長寿の秘密

9月某日、今回私は潮寿荘で行われる敬老会に潜入調査を試みた。先月フリーマーケットで購入した誰にも自分の姿が見えなくなる不思議な透明マントを頭からスッポリ被り、抜き足差し足忍び足。潮寿荘敬老会特設ホールへ。そんな私の眼に飛び込んできた光景は鮮やかな赤い頭巾とちゃんちゃんこを召した方々のお姿。これがウワサに聞く90歳以上のご利用者だけが装着できるという幻のコスチュームか。見渡せばホールには利用者さんやそのご家族、そして職員が勢揃い。

午前11時30分、遂に利用者さんの長寿とご健康をお祝いする敬老会が華



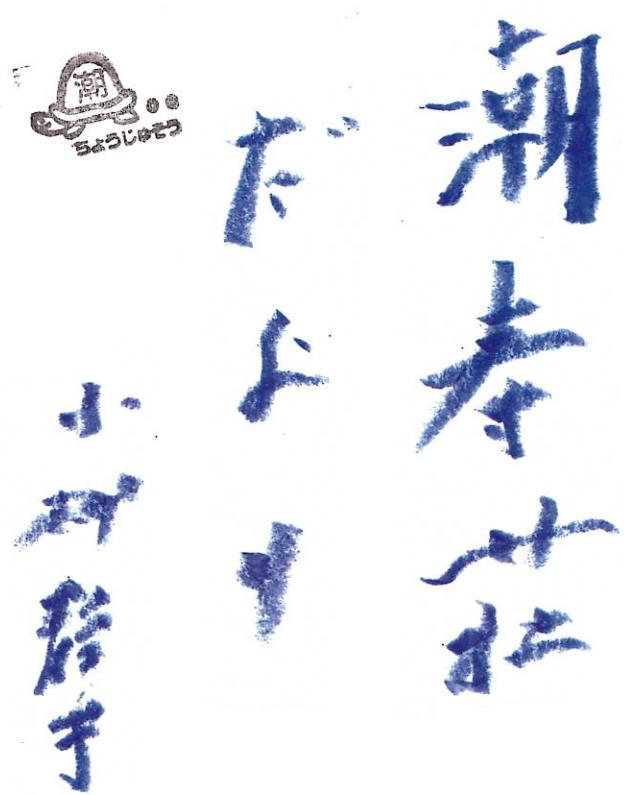
と司会者と
うとう音楽
を諦めて力
業に出た様
だ。今回の
敬老会出だ
しから波乱
の船出とな
った模様。



に合わせて歌を口ずさむ皆さん。名演奏にアンコールも飛び出して大満足の利用者さん達。トリを取るのは施設長による南京玉すだれ。何の変哲もないすだれがあら不思議アツとが流れない。何やら奥の方でカセツトデツキのスイッチを押すガチャガチャツという音が空しく鳴り響いている。「え～音響の調子が悪いようないので皆さんアカペラで歌いましょう。」おつままいわ」とあつちでもこつゝたご馳走の数々に「美味しいね」「うまいわ」とあつちでも利用者さんとご家族の笑顔の花があ咲く。さあ、おなかも一杯になつたところで、どうやらアトラクションが始まる

【調査報告】
潮寿荘の利用者さんの長寿の秘密は日々を笑顔で過ごすこと。そして美味しいご馳走を食べる事。そして素晴らしい演奏を聴くこと。そして皆で好きな歌を口ずさむ事。そして何よりも南京玉すだれを見る事。以上(ずっと『妻とのタヒチ旅行』を夢

夕しくも厳かに開催された。まずは司会者の「国家齊唱」の声が高らかにホールに響く。君が代の莊嚴なメロディーが流れるのを待つ一同。……?しかし待てど中々音楽



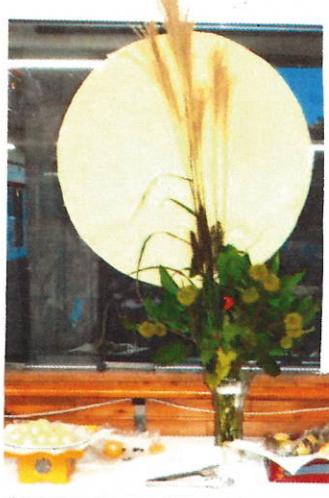
令和元年10月17日発行
発行: 特別養護老人ホーム
潮寿荘
記事: 10月担当潮寿荘職員
編集: 潮寿荘だより編集委員
題字: 小柳静子(82歳)

国歌斉唱の後は長寿のお祝い色紙の贈呈。私が手にした情報によると何でもこの色紙は90歳以上の利用者さん、米寿・喜寿の祝い年の利用者さんへ職員が心を込めて手作りしたもので一枚一枚に職員からのメッセージと渾身の装飾が施されているという。その色紙を施設長がお一人お一人の元へお届け。そして手渡された色紙を手に記念撮影ハイ、チーズと共に会食スタート。厨房入魂のメニューは赤飯・太巻き・エビフライ・白身魚のフライ・自家製タルタルサラダ・ほうれん草のごま和え・スイートポテトなど。腕によりをかけたご馳走の数々に「美味しいね」「うまいわ」とあつちでも利用者さんとご家族の笑顔の花があ咲く。さあ、おなかも一杯になつたところで、どうやらアトラクションが始まる





お月見



職員 手作りの月と団子などの
お供え物

9月18日は十五夜。潮寿荘でも栗やススキを飾り付け、夕食で月見うどんを食べてから『お月見』を行いました。司会者の開始の挨拶と共に聞こえてくる「団子よこせ~」という久美子さんの声。それに戸惑う司会者。「久美子さん、後から食べましょ~」と話す十五夜は開始されました。

施設長の挨拶が終わり、俳句を読み上げる司会者。始めて詠み上げたのは『潮に飾る 団子の数より 多い歳』という阡子さんの句。これは、飾つてある団子の数より自分の歳の方が多いという事を詠っているんだ、



今年入職した看護師の川村です。介護施設での仕事は初めてで不安と緊張の毎日でした。最初は介護士の皆さんに指導して頂いていました。ある時、トイレ誘導した際に幸子さんと話す機会があり、話をしていくうちに「あんたどここの出身だい」と尋ねられ、「私は厚沢部町の生まれ

と阡子さんが説明して下さりました。その後、司会者が考えた俳句を二つ詠んでる間も「芋まだが」「早く食べさせろ」の久美子さんの声。「歌を歌つてから食べましょう」と説得し、

しぶしぶ「うさぎ」「炭坑節」「お月

様」の3曲を一緒に歌い、やつとおやつタイム。薩摩芋、トウモロコシ、カボチャ団子、芋団子をどんどん食べる皆さん。最後に施設長の挨拶で終わると思いきや「食べたから寝る」と言う久美子さん。十五夜が終わり一番最初にベッドで休まれ、その日は爆睡だったそうです。

(見かけによらず、殆ど寝ないで働き続けるタフな介護士・尾上T)



そんなテル工さんは漁業を営む夫と息子、娘の4人家族で、子育てと家事をこなしながらパートで働いていたこと。そして趣味が花の鉢植えと畑の手入れだそうで、潮寿荘にも

でしようか・・・

テル工さんは昭和12年12月25日生まれ、クリスマスが誕生日の元気な80歳です。イベントと誕生日が被るとなんか特別な感じがするのは私だけでも話しかけるととても元気よく話され、その元気と笑顔にいつもやる気をもらっています！ほかの入居者さんとの輪に入ればもっと楽しく充実した生活を送れると思うので、大勢の輪に入ることが楽しく思えるよう私たちがキッカケとなり一緒に楽しく過ごせたらと思います。

(寿司屋では穏やかに「さび抜きで」というワイルド髪の介護士・池浦)

と、ても元気なテル工さん



なんだと。やいや、すぐ近くだったんだ」と大きな声で話しされ、それからは会ったびにいろんな話をしてくれる、私も知っている事をいろいろ話し、とても仲良くなりました。幸子さんの実家は海と山で、私の所は山の中で育った様ですが、同じ檜山管内の由で安心感があり、仕事も徐々に慣れて楽しい時間を過ごしています。幸子さんたちのために何が出来るか色々勉強していきたいと思っています。

(返納を考え運転免許再取得を迷つてしまった微妙な年頃看護師・川村)

11月の予定

4日 鍋会食
(正油ちゃんこ)

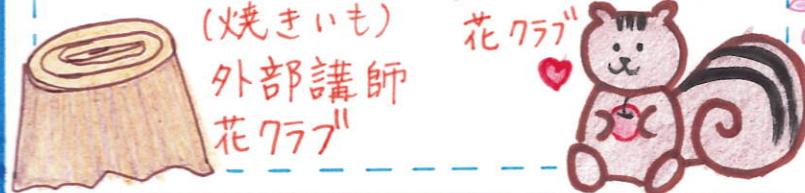
18日 鍋会食(カレー)

23日 勤労感謝の日
バイキング

5日 誕生会

13日 特別喫茶
(焼きいも)
外部講師
花クラブ

27日 外部講師
花クラブ



畑があるのでいつか趣味を満喫して過ごしていただければと思っています。しかしテル工さんは私と同じく大勢の中に入ることが苦手なようでいつもソファーに座って過ごしています。